



# A あ O お B ば A

千葉市立青葉病院  
広報紙

Vol.33

令和4年12月1日発行  
(年2回発行)

わかりやすく納得のいく医療を 心のこもった笑顔で



発行/千葉市立青葉病院 〒260-0852 千葉市中央区青葉町1273-2 TEL.043-227-1131(代) FAX.043-227-2022 <http://www.city.chiba.jp/byoin/aoba/aobatop.html>

## 院長インタビュー

千葉市立青葉病院の山本恭平院長にインタビューを行いました。

青葉病院についていろいろ聞きました。

### Q. 青葉病院の外来を受診するにはどうすればいいですか？

A. 診療時間内(平日の午前8:30~11:00)に手続きをしてもらえれば、外来受診することはできます。診療科によっては外来を行っていない曜日や予約のみの診療科もありますので、ホームページ等で確認してもらえればと思います。

地域の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)がなく受診されると、追加で料金がかかります。また、紹介状がないと同じ検査をしなければならなくなることもあります。できれば、紹介状を持って受診されることをお勧めします。

### Q. 特色ある診療科について詳しく教えてください。

A. 血液内科は、千葉市内の白血病の患者さんの半数以上を受け入れています。

甲状腺・副甲状腺センターでは、甲状腺腫瘍・バセドウ病などの疾患に対して検査から診断、治療、必要に応じて耳鼻科での手術までを青葉病院で一貫して行うことができます。

泌尿器科は、前立腺肥大症に対してレーザーを用いた低侵襲(体に負担の少ない)手術を数多



千葉市立青葉病院 山本 恭平院長

く行っています。

外科は、腹腔鏡手術を数多く行っています。特に腹腔鏡下の鼠径ヘルニアの手術を得意にしています。

高齢化に伴い、多くの病気を抱えて手術をされる方が増えてきています。手術をする診療科と内科が協力して安心・安全な手術ができるように連携しています。

### Q. 青葉病院の役割について教えてください。

A. 青葉病院の使命は、市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供すること

です。また、千葉市の政策的医療を担う役割があります。

例えば、非常時の救急医療・感染症医療です。救急医療では年間3,500台以上の救急車を受け入れています。また、感染症医療では新型コロナウイルス感染症の対応を行い、2020年の感染拡大当初から1,000人以上の入院患者さんの診療を行いました。大変な状況ではありましたが、医師を始め病院の全スタッフがワンチームで乗り越えています。スタッフには感謝しかありません。

また、災害拠点病院であり、災害時に患者さんを積極的に受け入れられるように訓練を行っております。そして、災害時に医師や看護師などのチームを派遣しています。

更に多くの研修医を受け入れ臨床研修指定病院として、医師の育成にも力を入れています。

## Q. 地域の医療機関とはどのように連携を取っていますか？

A. 地域の医療機関から緊急の診察の依頼は、可能な限りお断りせずに引き受けるようにスタッフに伝



えています。地域医療支援病院として、地域の医療機関から信頼される病院であり続けられるように取り組んでいます。

## Q. その他に、青葉病院の独自の取り組みはありますか？

A. 職員が自主的に「癒しの会」を組織しています。療養生活で患者さん、ご家族が少しでも安らかな気持ちになれるようにイベント等を企画・運営しています。コロナ禍の前はコンサートなどを企画していましたが、今はクリスマスツリーの飾り付けやパネル展示などを行っています。

患者さんからいただいたご意見を「患者さんの声」として、スタッフに周知すると共に検討した対応策等については、外来に掲示しお知らせしています。青葉病院がより良くなるように、貴重なご意見を活用させていただきます。



## Q. 今後の青葉病院と美浜区にできる新病院について教えてください。

A. 新病院は美浜区の千葉県立幕張総合高校の隣に、2025年に開院する予定です。青葉病院の産科と小児科の入院機能が集約されます。NICU(新生児集中治療室)など、妊娠・出産・新生児、乳幼児の医療に力を入れる予定です。

もちろん、新病院では一般的な診療も行います。例えば、新病院には脳神経外科、青葉病院には脳神経内科というように特色を持って、両病院それぞれに内科と外科を整備していく予定です。また、千葉市全体の救急患者の受け入れを両病院でカバーできるようになると考えています。

青葉病院も今まで通り今後も地域の医療機関と連携を密にして、市民の皆さんに貢献できるように取り組んでいきます。



### 看護師さんに聞いてみた

## 「院長ってどんな人？」



- 職員に気さくに話しかけてくれるので、とても親しみやすい院長先生です。話をよく聞いてくれるので、患者さんにも大人気です。
- バラの栽培をされていて、きれいなバラを病院に差し入れてくれるので毎年楽しみにしています。
- ゴルフがとても上手!



# 「登録医」のご紹介

## 久保生実町クリニック

住所: 千葉市中央区生実町1789-1 TEL: 043-261-0201

診療科: 内科・消化器内科・アレルギー科・小児科

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	×	●	●	●	×	×
14:00~17:00	●	●	×	●	●	×	×	×

◆休診日: 水曜・日曜・祝日 土曜日午後休診です。

久保生実町クリニック 院長の久保恭仁と申します。当診療所は昭和61年、小児科医の祖父が当地に開業しその後は母が継承、そして昨年8月から引継いでおります。私の専門は消化器肝臓内科で、日本消化器病学会専門医、日本消化器病内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医の資格を有しています。健康診断や健康相談はもちろんのこと、風邪、花粉症、脂質異常症、糖尿病、高血圧など内科一般の疾患に誠心誠意診療させていただいております。また、腹部超音波検査・上部消化管内視鏡検査(経口、経鼻)も行っており、内視鏡に関しましては患者様の苦痛が最小限になるよう検査しております。COVID-19の診察は、ワクチン接種、発熱外来を行っております。地域の皆様を中心に、何かあった時に相談できる身近な診療所となるよう日々精進してまいります。

千葉市立青葉病院の諸先生方、スタッフの皆様には、当院で診療が困難な患者様をお引き受けいただき大変お世話になっております。この場をお借りして心から御礼申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



「登録医」とは、青葉病院では千葉市セミオープンシステムに登録していただいた地域の医療機関です。セミオープンシステムとは、紹介により千葉市立青葉病院に入院した患者さんについて、医療の連携を図るために「登録医」が診察・記録の閲覧を行うことができるというシステムです。

令和4年4月から  
令和4年10月までに  
新たに登録された医療機関を  
ご紹介いたします。

- Jメディカルおゆみの (緑区おゆみ野)
- まくはりコーラス内科 (美浜区幕張西)
- やまもとクリニック (緑区古市場)

登録日順

